▶ 路面標示

課題	・通過交通が多い。 ・車両の通過速度が高い。
対策内容	ドライバーに前方の道路状況 (通行上注意が必要な箇所) を標識や道路標示によって 予告する。
効果	ドライバーに通行上注意すべき道路の状況を予告することにより、速度の抑制や慎重 な運転の促進が図られる。

スクールゾーンの路面標示(東京都 江戸川 区)

〇対策前



・歩行者専用道路の時間規制がかかっているが、 通行する車両がある

〇対策後



・スクールゾーンの路面標示を設置し、通学路区間の周知を図る

横断歩道の手前に注意喚起を促す路面標示とイメージハンプを整備(山形県)

〇対策前



・交通量が多く、車両の通行速度が高いため児童 が横断する際に危険

〇対策後



- 横断者注意の路面標示
- ・路面標示及びイメージハンプによる注意喚起

横断歩道手前のカラー化と注意喚起看板を整備(北陸地方整備局金沢河川国道事務所)

〇対策前



・横断歩道の先にある交差点部に気を取られ、ドライバーが横断する歩行者を見落とす危険があった

〇対策後



- ・この先通学路走行注意の注意喚起看板設置
- ・横断歩道手前をカラー化

交差点部の存在を明確化する十字マークの標示

〇対策後





・交差点部を明確にする為の十字マークの設置